第３号
令和３年
６月２４日（木）

巣立ち

加東市立社中学校
生徒指導通信
発行者
村上大地（生徒指導）

見えないものに対する

～結果よりも大切なものがある～

期末考査が終わりました。徐々に結果が返ってきていると思います。テストの結果は誰しも気になるものです。誰もが「いい順位を取ろう」、「前より良くなろう」、「〇〇点を取るぞ」と頑張るものですから。

しかし、そのために努力し頑張って来たことが、必ずしも結果となって現れないこともあります。期待した結果に結びつかず、失意の気持ちに襲われたことが誰もが一度はあるのではないでしょうか。「こんなに頑張ったのに･･･なぜ･･･？」とか、「報われなかった･･･」と失望してしまったことがあるのではないでしょうか。けれども、本当に報われなかったのでしょうか？無駄だったのでしょうか？

テストは、学習の定着度を確かめるものです。既習の内容が、どれだけ身についていたか。どれだけわかっていたか。それに気づき、次へとつなげていく、一つの過程です。思うような点数でなかったのなら、「このままではいけない」と謙虚に受け止め、その反省が次の良い結果につながると前向きに考えればいいのです。期待していたような結果が出たのなら、自分の努力を認め、自信を持ってください。点数だけを喜ぶのではなく、努力を続けることができたことにも誇りをもってほしいと思います。

そういった意味では、テストは受ける前はもちろん、結果が返ってきた後が大切ということになりますね。テスト返しのとき、先生の話をしっかりと聞いていますか？自分の間違ったところに目を向けていますか？先生が言う正答を書き写しているだけになっていませんか？そのときに、次の機会に向けてのよい切り替えをし、よいスタートをきってほしいものだと思います。

明日から加東市総体を迎えます。もちろん、だれもが「勝つ」ことを目標にやってきたはずです。しかし、「よい結果」＝「勝つ」だけではないですね。正々堂々、全力で勝負して、その結果、勝つ。勝つことによって得る喜びは、最上のものとなるでしょう。しかし、いつかは負けるときもあります。そのとき、「負けた」ということを望ましい態度で受け止めることができるかどうか、それは、これまでの自分がどれだけ頑張ってきたかにかかってくることでしょう。「自分の力は出し切れた」「悔いはない」と潔く受け止められる、そんな心も持ち合わせてほしいと思います。

テストと部活動について文章を書きました。共通点は「過程を大切にする」「結果を真摯に受け止める」「頑張ってきたことにこそ、真の価値がある」ということです。目に見える結果のみに縛られず、様々な機会を経験することで、自分自身を成長させていってほしいと思います。

７月の生活重点目標

- **学習規律を高める（開始前着席・準備や挨拶の徹底・発表の充実）**
- **清掃活動の徹底（５分前集合・時間いっぱいの取り組み）**
- **部活動の充実（部内での高め合い・総体に向けて・活動時間の厳守）**